

【第59号】  
平成30年7月31日

福島県相双建設事務所

相双建設事務所  
マスコット  
キャラクター  
「どんぐりまん」

# 復旧復興だより



※8年ぶりに再開した  
原釜尾鉄橋水浴場での  
打ち上げ花火

【この便りは、福島県相双管内の復旧・復興事業の進捗状況や地域づくり活動等の取り組みをお伝えするものです】

## ◆ JR新地駅周辺の県道の整備状況をお知らせします！！



※監督員のコメント 道路橋梁課  
原主任主査（島根県より派遣）  
“復旧復興に向け、事業  
完了のため一生懸命取り  
組んでまいります”



### 位置図



福島県相馬郡新地町

県道相馬亘理線（新地工区）及び県道新地停車場釣師線（釣師工区）は、東日本大震災の津波により大きな被災を受けたことから、「津波被災地の復興まちづくりを支援する道路」として、平成24年度から道路改良工事を進めております。今年度内の全体完了を目指して、工事を進めてまいります。本路線の整備完了により、地域の振興が図られるものと期待しています。

## ◆ 地蔵川の整備状況お知らせします！！



※監督員のコメント 河川海岸課  
加藤副主査（愛知県より派遣）

“地域の復興のために  
一生懸命業務に取り  
組んでまいります”



地藏川は、東日本大震災に伴う津波により、甚大な被害が生じました。さらには大震災に伴う広域地盤沈下の影響により、河川の堤防高が低下したため、被災地域の復旧・復興にあたり、河川堤防を高くすることが必要となっています。平成31年度の事業完了に向けて、現在、工事を行っています。事業の完了によって地域住民の方や相馬中核工業団地立地企業の方の安全性が向上します。



# ◆ J ヴィレッジ が再始動しました！！

東日本大震災、原発による事故の影響で全面休止となっていた J ヴィレッジが7月28日（土）に再始動しました。天然芝ピッチや人工芝ピッチ、新宿泊棟を備えるなど再始動に向けて生まれ変わりました。J ヴィレッジ付近にはJR常磐線の新駅も予定されており、双葉郡全体の復興、地域振興に大きく寄与してくれるものと期待されています。



# ◆ 道の駅等に復旧・復興事業のパネルを設置しています！！

平成30年7月26日～8月20日まで管内の道の駅等（道の駅そうま、道の駅南相馬、いいたて村の道の駅までい館、セデッテ鹿島）に復旧・復興事業のパネルを設置しています。今回は、管内で復旧・復興事業が完成した地域にスポットを当てて管内の安全・安心が回復したことを広くアピールしています。ぜひ、ご覧ください。



# ◆ 「豪雨から子供の命を守る出前講座」を実施しました！！

平成30年7月12日に相馬市立山上小学校で「豪雨から子供の命を守る出前講座」を実施しました。当日は4年～6年生の児童23人が参加し、子ども達は真剣に話を聞いていました。本講座は、集中豪雨等による洪水や土砂災害の自然災害から自分の命を守るための知識を身につけ、防災意識の高い人材を育成することを目的としています。



# ◆ 派遣職員との意見交換会を開催しました！！

相双建設事務所には復旧復興業務のため、8県（神奈川県、新潟県、愛知県、滋賀県、岡山県、島根県、高知県、長崎県）から15名の職員を派遣頂いています。より効率的な業務を行うために、7月25日に意見交換会を行いました。意見交換会の結果をふまえて、さらなる復旧復興業務の加速化へ努めてまいります。



# ～ 地 域 イ ベ ン ト の 紹 介 ～

## 原釜尾浜海水浴場が再開しました!!

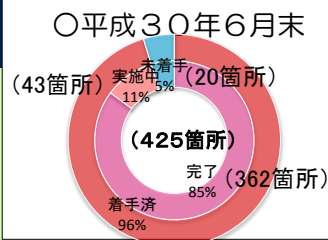
平成30年7月21日に相馬市の原釜尾浜（はらがまおばま）海水浴場が東日本大震災以来8年ぶりに再開しました。当日はステージイベントや花火などが行われ、子どもたちの笑顔が溢れていました。海水浴場の再開によって地域のにぎわい創出に繋がることが期待されています。



## ◆ 東日本大震災の災害復旧工事の進捗状況（平成30年6月末）

東日本大震災で被害を受けた当事務所所管の道路、河川、海岸等の災害復旧工事の進捗状況は右に示すとおりです。

（帰還困難区域で査定が未実施の箇所は含まれていません。率は事業箇所数で算出した割合です。）



編集者：福島県相双建設事務所 企画調査課 TEL0244-26-1228 FAX0244-26-1197  
管内についての詳しい情報は下記ホームページをご覧ください。

◇ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41370a/soso32056.html> ◇Facebookはこちらから→

